

平成 26 年度鳳南校区「親子防災訓練」の報告

開催日 : 平成 27 年 2 月 8 日 (日) 10:00~14:00
開催場所 : 堺市西区鳳南小学校
参加者数 : 411 人 (大人 196 人、子ども 215 人)

1. はじめに

静岡県の駿河湾から九州東方沖まで約 700 キロにわたって続く、深さ約 4 千メートルの海底のくぼみで発生する「南海トラフ巨大地震」が近づいています。約 100 年~150 年間隔で、マグニチュード(M)8 前後の地震が繰り返されてきましたが、国は「考える最大級」として M9.1 の地震の被害想定を発表しました。最悪の場合、死者が約 32 万人、建物の全壊が約 239 万戸に上り、東日本大震災の 1.8 倍の約 10 万 1500 ヘクタールが津波で浸水すると想定されています。

このような巨大地震の発生に備えて、「地域の将来を担う子ども達の命を守るには何をすべきか」を真剣に考えなくてはなりません。子ども達の命を守るために必要な事は、①地震から命を守るための正しい知識を得る、②地震が発生した時に正しい行動がとれるように日頃から訓練することです。そこで、鳳南校区自治連合会では、「子どもの命を地域で守るためには」ということを考えるために、「親子防災訓練」を開催しました。

主催は鳳南校区自治連合会、堺市鳳南校区まちづくり協議会、鳳南校区自主防災会で、共催は鳳南小学校 P T A、鳳南校区連合子ども会、鳳南校区連合子ども会育成会であり、企画立案から運営は P T A と子ども会の役員が担当しました。また、実施に当っては、鳳南小学校、堺市西区役所、堺市西消防署や若草・やまびこ・なかよし・たけのこ・若竹の 5 単位子ども会にお世話になると共に、公益社団法人日本技術士会近畿本部および特定非営利活動法人さくらネットの皆様にご指導して頂きました。

以下に今回の防災訓練の内容を報告します。

2. 実施内容

2.1 防災訓練説明会

午前 10 時より体育館において防災訓練の説明会を開催しました。説明会は中裏事務局長の司会進行のもと、西尾自治連合会会長のご挨拶で開始されました。西尾自治連合会会長から、今回の防災訓練の意義と必要性が説明され、来るべき大地震に備えて、日ごろからの準備と訓練が重要であると述べられました。



説明会の様子



司会 中裏事務局長



挨拶 西尾自治連合会長

続いて、今回お世話になる来賓の方々として、堺市危機管理室の皆様、堺市西区役所の皆様、日本技術士会近畿本部の皆様、さくらネットの皆様の紹介後、鳳南小学校校長先生・教頭先生、PTA会長、連合子ども会会長、地域防災士の皆様の紹介がありました。このように、鳳南校区は、行政と地域団体および防災専門家が一体となって防災活動に取り組んでいます。

次に、連合子ども会の倉本会長より、防災訓練の内容と注意事項の説明があり、特に、今回の防災訓練では、お互いに協力して助け合いながら取り組む姿勢が大切であることが述べられました。



訓練の説明 倉本連合子ども会会長



来賓の皆様

2.2 防災訓練の内容

体育館での説明会の後、10時30分より、大人は校舎2階の家庭科室で防災講演会に参加、子どもと保護者の方々は体育館で人命救助や防災ゲームを行いました。

防災講演会は10時30分から12時まで実施され、「助け合ってつくる安全・安心な避難所～東日本大震災の経験から～」と題して、一般社団法人東日本大震災復興サポート協会代表理事の遠藤雅彦講師のご講演がありました。

体育館では、地域防災士の皆様のご指導により「AED訓練」と「簡易担架による人命救助訓練」が実施され、日本技術士会近畿本部の技術士の皆様のご指導により「紙ぶるる」「ゆらり」「家具転倒防止」など地震災害に備えるための技術的説明が行われました。さくらネットの皆様からは、新聞紙でスリッパや食器を作ったり、キッチンペーパーを使用してマスクを作るなど、非常時に身近な材料を活用する方法が指導され、またパネル展示や防災パネルクイズで地震災害に対する基礎知識の指導が行われました。



防災講演会の様子



AEDの訓練



簡易担架人命救助訓練



防災パネルクイズ



新聞紙でスリッパを作る



新聞紙で食器を作る



キッチンペーパーでマスクを作る



紙ぶるるを作って建物揺れ方を学ぶ



「ゆらり」で揺れ方の違いを学ぶ



家具転倒防止の方法を学ぶ

2.3 昼食の炊出し訓練

簡易な昼食として「カレーライス」を試食しました。ご飯は非常時での作り方を学びました。「ハイゼックス」という強化ビニールに無洗米を0.5合入れ、同量の水を袋に入れて、袋の中に空気が残らないように空気をぬきながら輪ゴムで口を固くしぼり、沸騰したお湯の中に入れて約30分煮ました。カレーは、ハウス食品の「お子様カレー（1袋100g）」を準備しました。りんご以外のアレルギー物質を使用せず、野菜・果物をベースにし、表示義務のある食品添加物を使用しないカレーを使用することで、全てのお子様に安心して食べて頂けるようにしました。

炊出しのお世話は、若草・やまびこ・なかよし・たけのこ・若竹の5単位こども会の指導員が担当しました。400名の食事の準備をどのようにして処理していくかが課題でしたが、1回の炊出し訓練を100人として4回に分け、さらに5ヶ所の炊出し場を設けることで1ヶ所当たり20名の炊出しができるようにしました。そして、受付で整理券を配布することで、混乱なく炊出し訓練を行うことができました。

食事場所は、小学校側の配慮によりランチルームが用意され、こども達が楽しそうに食事をしていました。



ハイゼックスにお米と水を入れます



お湯で30分間煮ます



カレーをかけて出来上がり



ご飯の出来上がり



アレルギー対応のお子様カレー



ランチルームで食事

2.4 幼児への対応

参加される保護者の中には、小さなお子様を連れてこられる方がいました。そこで、幼児も楽しめる行事として、消防署のご協力により「水消火器訓練」と「こども消防士」のコーナーを設けました。

水消火器訓練では、消火器の使い方を学ぶと共に正確に消火することも大切ですので、的を5個設置してそれを水消火器で落とす訓練をしました。こども消防士では5色の消防服を準備して小さなお子様の写真撮影ができるようにしました。



水消火器に水を充填



水消火器で的を落とす



こども消防士 記念撮影

3. 終わりに

今回の防災訓練では多くの皆様のご協力により無事に開催することができました。これからもこのような防災訓練を継続していくことが大切だと感じました。大きな地震は必ず起こります。「備えあれば患いなし」というように、ひとりひとりが常日頃から災害に備える心がけが大切です。鳳南校区では、地域の皆様が災害から命を守るために、これからも様々な取組を行っていきたくと考えています。



多くの参加者で賑わう体育館

(文責 南側晃一)